

No.191

- ② 5年度決算審査報告
- ⑥ 議会アンケート結果
- ⑦ 先進地視察報告
- ⑱ 議会報告会のお知らせ

# みんなの 議会

長崎県長与町議会  
令和6年9月定例会

町民と共に歩む  町議会だより



Photo title: 残暑と夕焼け (岡郷)

歳入 159億 1301万円 歳出 147億 5895万円

## 注目事業ピックアップ

### 公園施設長寿命化対策工事

2390万円



利用者が安心・安全に公園を利用できるように、老朽化していた天満宮公園の遊具の更新を行いました。

### 町ふれあいセンター体育館照明改修工事

592万円



長与町ふれあいセンター体育館の照明をLED照明へと改修する工事を行いました。

### 学校給食費公会計化

1億8806万円



保護者の利便性向上および教員の業務負担軽減を目的に、給食費を学校管理から公会計へ移行しました。

### 消防格納庫建設工事

3637万円



第2分団消防格納庫の老朽化に伴い、現在地で建て替えを行いました。

### 地域運動部活動推進事業

1686万円



町立中学校における休日の運動部活動を廃止し、学校と地域との連携により、運動部活動を地域スポーツ活動に移行しました。

### 高校生福祉医療費助成

1375万円



18歳までのすべての子どもたちが安心して医療を受けることができるよう、中学生までの医療費助成を高校生までに拡大しました。

令和6年第3回定例会を9月3日から20日までの18日間の会期で開き、5年度一般会計決算・特別会計決算・6年度一般会計補正予算など、18議案について慎重に審議を行いました。

## 歳入 159億1301万円

①

①町税 47億2248万円 (29.7%)

②

②国庫支出金 27億8865万円 (17.5%)

③

③地方交付税 27億3181万円 (17.2%)

④

④県支出金 12億 63万円 (7.5%)

⑤

⑤町債 9億5791万円 (6.0%)

⑥

⑥その他 35億1153万円 (22.1%)

## 歳出 147億5895万円

①

①民生費 61億5460万円 (41.7%)

②

②総務費 20億8750万円 (14.1%)

③

③教育費 14億5118万円 (9.8%)

④

④衛生費 13億8133万円 (9.4%)

⑤

⑤土木費 13億1441万円 (8.9%)

⑥

⑥公債費 13億 585万円 (8.9%)

⑦

⑦その他 10億6408万円 (7.2%)

※数字は端数を処理しています。

# さらに町民にとって

## 令和5年度一般会計歳入歳出決算

### 主な質疑

#### 複合施設整備費設計委託料

Q 委託料の前金払いの30%の根拠は何か。

A 要綱の中で工事費は40%まで、委託料は30%までを前払いできるという規定がある。

#### 郷土芸能大会

Q 郷土芸能大会があつたが、郷土芸能を残すために経済的支援は考えていないのか。

A 大会の補助と、それ以外に毎年10万円の補助を各団体にしている。



吉無田獅子舞

#### 地方創生移住支援事業

Q 移住者の移住後の仕事の相談はどうしているのか。

A ながさき移住サポートセンターで、さまざまな相談を受けている。



ぜひ長与町へ移住を

#### 学校のトイレの洋式化

Q 学校のトイレの洋式化はどれくらい進んでいるか。

A 小学校62・2%、中学校60・9%、小中合わせて約61・8%で、7年度までに約70%の洋式化を目指している。

#### ふるさと長与応援寄附金

Q 福祉課では、どのような事業に使ったのか。

A 地域福祉ボランティア助成金、長与町心配ごと相談事業補助金などの事業に充当した。

#### 高田南土地区画下水道工事

Q 長崎市が整備する、高田南土地区画整理地内の市下水道区域の工事負担金はいつまでか。

A 工事は6年度に完了するためその分までである。

### 反対討論

#### 財政負担が過大である

高田南土地区画整理事業への一般財源の投入など、財政負担の過大さから住民から寄せられる要求が実現しない例が少なくない。区画整理事業が当初の計画どおり終了していれば、類似団体と比較し余裕度がある財政力を生かし、住民要求に応える形で有効活用できたものとの思いから本議案に反対する。(堤)

### 賛成討論

#### 行財政運営は適正と判断

土地区画整理事業や新図書館等複合施設建設事業は、物価高騰の影響を受けながらも順当に進んでおり、当初の予定から大きく遅延したからこそ、長年の町民の不安を軽減・解消しようという職員の努力が見える。改善すべき事業もあるが、全般的には財政運営は適正と判断し、認定に賛成する。(八木)

# 保険料は将来的に県統一化へ

全会一致  
認定

## 令和5年度国民健康保険特別会計決算

国保世帯数 4631世帯 (前年度4779世帯)  
被保険者数 7218人 (前年度7577人)

歳入 43億1373万円



歳出 42億7223万円



※数字は端数を処理しています。

### 主な質疑

**Q** 国は、将来、保険料の統一化を目指していると思う。長崎県での統一化の状況はどうか。

**A** 国が加速化プランを発表し、遅くとも令和17年度までには保険料の水準を完全統一するよう指針が出た。県においては具体的な議論はなされていない。統一された場合、本町の保険料は上がる見込みとなっている。

**Q** 485万5千円が流用(※)されている。理由は何か。

**A** 高額医療費の額が当初見込みより上がり、支払いに間に合わせるために流用した。

### ※流用

規定の予算において、ある支出科目からその他の支出科目に予算を充当する処理のことです。流用は無制限に認められているわけではなく、法律などで制限されています。

75歳以上は6059人 (前年度5760人)

認定  
賛成13:反対2

## 令和5年度後期高齢者医療特別会計決算

歳入 6億3594万円  
歳出 6億3250万円

介護認定者数1879人 (前年度1863人)

全会一致  
認定

## 令和5年度介護保険特別会計決算

歳入 32億6682万円  
歳出 30億7575万円

### 主な質疑

**Q** 介護保険認定審査会とはどのようなものか。また、委員の構成はどうか。

**A** 介護保険の認定申請をした後に、主に要介護1から5、要支援1から2を決定、認定する審査会である。委員は30人。毎月6班による審査会があり、年間72回開催している。  
委員の構成は、医師・歯科医師・介護職員・理学療法士・作業療法士など、医師会やそれぞれの所属団体に依頼し、推薦してもらっている。

### 反対討論

以前の老人保健制度に戻すことが急務

今日私たちが平和に生活できる土台は、戦後の荒廃から復興を成し遂げてきた高齢者の汗の結晶である。高齢者が長生きした結果、数年ごとに保険料が重くのしかかるこの制度は社会保障の理念に反する。(堤)

### 賛成討論

現状維持を求める

本町の一人当たりの給付額は県平均に比べ低い額となっている。また、収納率も県下2位である。これら給付額や収納率の状況から安定的な財政運営がされている。(堀)

# 完成間近 高田南土地区画整理事業

**認定**  
賛成14：反対1

## 令和5年度土地区画整理事業特別会計決算

歳入 17億5780万円

歳出 15億4331万円

令和5年度末工事進捗

(工事ベース)

道路築造 65・0%

宅地造成 81・6%

### 主な質疑

**Q** 一括施工は6年度内に完成するののか。

**A** 計画どおり6年度末の工事完成に向けて進んでいる。

### 反対討論

施工完了が目前であるからといって、決算と膨れ上がった事業を黙認できない。(堤)

### 賛成討論

自治会も発足し、住宅地として機能し始めた。計画どおり完成することを望む。(堀)

# 持続可能な上下水道運営のために

**全会一致 認定**

## 令和5年度 水道事業会計決算

収益的収入 8億 610万円  
 収益的支出 7億1652万円  
 資本的収入 4億9686万円  
 資本的支出 5億3491万円

### 主な質疑

**Q** 中尾団地の排水管の経過年数と工事の優先順位はどのように決めるのか。

**A** 経過年数は51年で、漏水の状況や、管の材質などで決めている。

**Q** 水道料金はどれくらい改定されていないのか。

**A** 昭和63年に値上げして36年間行っていない。

## 令和5年度 下水道事業会計決算

収益的収入 9億8346万円  
 収益的支出 9億 382万円  
 資本的収入 2億1209万円  
 資本的支出 4億7338万円

### 主な質疑

**Q** 水洗化未整備と水洗化率はどれくらいか。

**A** 処理区域内の未整備が8世帯、整備済み区域での未水洗が102世帯、水洗化率は99・39%、行政区域ベースでは98・93%である。

**Q** 汚水管の耐用年数と改築する場合の理由は何か。

**A** 耐用年数は50年、ストックマネジメント計画で優先度の高いものから改築する。

### 用語解説

収益的収支…主に維持管理関係

収益的収入…使用料、負担金等

収益的支出…維持管理費、人件費

資本的収支…主に設備投資関係

資本的収入…補助金、借入金

資本的支出…事業費、償還金

全会一致  
可決

## 複合施設建設工事費など予算計上

### 令和6年度一般会計補正予算（第3号）

既定の予算に歳入歳出それぞれ合計8億9882万8千円を追加し、総額を165億4463万6千円としました。

#### 主な質疑

##### 複合施設整備費

実施設計が完了したことを受けて、令和6年度分の工事費前払い分や工事監理委託料など3億5798万円を計上するものです。

**Q** 工事監理委託料は監理業務委託と設計者の意図伝達業務委託と  
いうことだが、内容は何か。

**A** 工事監理委託業務は図面と工事現場があつているかを確認する業務である。意図伝達業務は設計図面の意図、内容を工事監理業務を通じて現場に伝えるもので、設計者との随意契約になる。



図書館等複合施設模型  
愛称は「ホンテラッセ長与」に決定

##### 公民館等改修工事費

上長と公民館などの空調設備などの改修費用となります。

**Q** 働く婦人の家の空調機は、どの部屋の中で金額はいくらか。

**A** 講習室が81万9500円で、相談室は42万5150円だ。

## 議会アンケートへのご協力ありがとうございました

前号で議会に関するご意見を募集したところ、8月末までに8通のご回答をいただきましたので、ご意見・ご質問の一部（要約）をご紹介します。すべてのお声を全議員が共有しており、今後の議会活動の参考といたします。

#### ご意見

- ・議員と気軽に会話できるような雰囲気の議会報告会であれば参加してみたい。（同様2通）
- ・視察の報告書をよく読むが、議員も大変だと思う一方、そんなに頻繁に遠方に行く必要があるのか疑問に思う。視察にかかった人員や費用を記事に加えてほしい。
- ・議員定数は適正か。（同様2通）

#### ご質問

- Q. 議会はどうやったら見学できますか。  
A. 本会議・委員会は原則どなたでも傍聴可能です。閉会中の議場見学などは議会事務局へご相談ください。
- Q. 役場はよく「検討する・研究する」と答弁するが、議員は検討結果などを追及しているか。  
A. 長与町議会では平成28年に「答弁事項の対応状況報告実施要綱」を定めており、各議員が必要に応じて個別に執行部に「議会答弁事項の対応状況調書」の提出を求め、その後の経過・進捗などを確認しています。

議会へのご意見は、議会だよりで募集を行っていない時も随時受け付けております。メール・FAXなどお気軽に皆さまのお声をお聞かせください。

長与町議会事務局 メール：gikai@nagayo.jp FAX：095-887-2144 ※個別の回答・返信をお約束するものではありません。

人事案件

教育委員

任期満了に伴う教育委員会委員任命の議案が提出され、全会一致で同意しました。

廣田 敬子 氏 (嬉里郷)

令和6年第3回定例会の議案および議決結果

議案番号	議案	審議結果
第40号	長与町土地開発基金条例の一部を改正する条例	可決 (全会一致)
第41号	長与町福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	可決 (全会一致)
第42号	長与町国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決 (全会一致)
第43号	長崎本線長与駅自由通路等改修工事の施行協定の締結について	可決 (全会一致)
第44号	令和6年度長与町一般会計補正予算 (第3号)	可決 (全会一致)
第45号	令和6年度長与町国民健康保険特別会計補正予算 (第1号)	可決 (全会一致)
第46号	令和6年度長与町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号)	可決 (全会一致)
第47号	令和6年度長与町介護保険特別会計補正予算 (第1号)	可決 (全会一致)
第48号	令和6年度長崎都市計画事業長与町土地区画整理事業特別会計補正予算 (第1号)	可決 (全会一致)
第49号	令和5年度長与町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
第50号	令和5年度長与町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 (全会一致)
第51号	令和5年度長与町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
第52号	令和5年度長与町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 (全会一致)
第53号	令和5年度長崎都市計画事業長与町土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
第54号	令和5年度長与町水道事業剰余金の処分及び決算認定について	可決・認定 (全会一致)
第55号	令和5年度長与町下水道事業剰余金の処分及び決算認定について	可決・認定 (全会一致)
第56号	長与町教育委員会委員の任命について	同意 (全会一致)

賛否が分かれた議案 (○賛成 ▼反対 ■棄権 ◆除斥 一欠席) 議長は原則採決に加わらないため※で表示

議案番号	下町純子	堀真美	藤田明美	岡田義晴	八木亮三	松林敏	西田健	浦川圭一	中村美穂	安部都	金子恵	山口憲一郎	堤理志	竹中悟	西岡克之	安藤克彦	審議結果
第44号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	■	■	※	可決 (全会一致)
第49号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	○	○	※	認定
第51号	○	○	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	○	○	※	認定
第53号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	○	○	※	認定

■棄権：議員自らの意思により表決に参加しないこと。 ◆除斥：議員は自らに利害関係のある事件の議事に参与することができないこと。

## 8人が問う

### 一般質問

質問は、行財政全般にわたって議員主導の政策論議をするもので、議員も執行側も十分な準備を必要とすることから、事前通告制です。制限時間60分の範囲内で、一問一答制をとっています。

### 一般質問の記事

質問した議員が実際のやりとりの範囲内で執筆したものです。原稿は、原則として1000文字以内に要約したもので、原文を尊重して掲載しています。

### 会議録の閲覧

会議録は、長与町図書館、長与北部地区多目的研修集会施設、高田地区公民館、上長与地区公民館、長与南交流センター、長与町議会ホームページで閲覧できます。

### 会議の中継・配信

本会議の様様を、ユーチューブでライブ配信・録画配信しています。ご自宅のパソコンやタブレットなどからもご覧になれます。

掲載ページ [一般質問の動画にリンクしたQRコードを掲載しております。ぜひご覧ください。](#)

9	金子 恵 議員	① 気候変動による影響と対策について ② 認知症対策について
10	八木 亮三 議員	① ワクチン接種費用助成とHPV検査について
11	岡田 義晴 議員	① 町民の健康づくりについて ② 水道整備事業について
12	安部 都 議員	① 認知症高齢者等（若年性認知症含）と独居高齢者における行政施策について
13	西岡 克之 議員	① 自治会のデジタル化について ② 体育施設の使用について
14	中村 美穂 議員	① 部活動地域移行について
15	堤 理志 議員	① クスノキ材活用提案のその後について ② 公共交通対策について ③ 教育委員会が管理する基金について
16	下町 純子 議員	① 学校図書館の図書校務員の配置について



金子 恵 議員

# リスク対応 ハザードマップ更新を



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

## 回答 6年度ウェブ版 7年度紙版を予定

■ 議員 地域ごとの対応策が重要視されていることから、防災インフラの強化や自然災害リスクの低減など再確認をするとともに、住民の命と財産を守るために、気候変動の影響を最小限に抑えるための取り組みなど、強化していく必要がある。近年、気候変動により災害リスクが変化しているためハザードマップ更新が求められる。内水氾濫も考慮し取り組むべきと思うがどうか。

■ 地域安全課長 ハザードマップの更新は、変更、追加があった場合に行うこととしている。令和6年度はウェブ版、7年度は紙版の更新を予定している。内水氾濫に関しては、詳しい状況が分かっていない。下水道事業との関連があるため今後研究させてほしい。

■ 議員 マップ作成は、専門用語を避ける、図・イラストを用いる、多言語化を進めるなど幅広く活用できるものが求められる。どう進めてい

くのか。

■ 課長 紙版更新時に、留意しながら策定していく。

■ イベントの再検討

■ 議員 ながよ川まつりにおいては、駐車場から会場への距離もあることからピストンでのバス運行を希望する声を聞く。イベントの在り方をどう考えているか。

■ 産業振興課長 今後の気温の上がり方によっては、開催時間、時期についても検討の必要があるかと考えている。また、実行委員会の予算もあるため、バスに関しては厳しい。



自分のいのちを守る一歩になります！

### 避難行動要支援は

■ 議員 避難行動要支援者への対応は現在どうなっているか。

■ 福祉課長 国・県からの指示、方向性で個別計画の情報更新を行っていく。また、計画が立てられないという自治会からの要望なども耳にしている。ICTなどの提案に関しては研究も含めて考えていければと思っている。

■ 議員 対応を考慮した地域防災計画の策定、見直しにも取り組む必要がある。この計画と連携させながら、どのような体制で臨んでいくのか。

■ 課長 同意がなくても発災時、名簿全てを公開して良いとなつている。日頃から連携し名簿の活用ができるよう推進に努めていく。

### あんしん見守り 賠償の保険導入を

問 対策の一つ 導入可否研究する

■ 議員 愛知県大府市での認知症患者の踏切事故をきっかけにあんしん見守り賠償責任保険事業を実施する自治体がある。本町も踏切が12カ所あり、踏切以外で通行している箇所もある。検討してはどうか。

■ 町長 今後、高齢化率はますます高くなると予測されている。対策の一つとして導入の可否も含め、賠償責任保険への加入条件、保険料および補償内容、また必要性や課題などについて研究していく。



認知症患者の見守りを



やぎ りょうそう 議員

# HPV 予防接種へ町独自の助成を



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

## 回答 定期接種期間内の接種を推進する

年間約1.1万人が子宮頸がんに罹患

年間約3千人が死亡

30歳代までに約千人ががんの治療で子宮を摘出

子宮頸がんからあなたを守る

### HPVワクチン接種

- ▶ HPVワクチンを接種することで子宮頸がんの原因の50～90%を防ぐことができると言われています。
- ▶ 下記の対象者は無料でワクチン接種が可能となっておりますので、お住まいの市町村にお問い合わせください。

定期接種対象者	キャッチアップ接種対象者
小学6年生 ～高校1年生相当	1997年4月2日 ～2008年4月1日生まれ

将来悔やまぬために必ず接種を  
(画像は高知県HPより)

■ 議員 HPV（ヒトパピローマウイルス）ワクチンの定期接種を逃した世代への国によるキャッチアップ接種が令和6年度で終了するが、本町では5年度末までに対象者の16%しか接種していない。キャッチアップ接種の期間を本町独自に延長できないか。

■ 町長 延長の予定はない。

■ 議員 全員への無期限延長は無理だが、経済的に自費接種が難しい大学4年生程度までは救済していいのではないか。10%程度の接種率とし

て年に750万円、最年少対象者が22歳になる5年後までの限定的措置は可能ではないか。

■ 町長 現在は7年3月までにより多くの人に接種してもらうことをやっていきたい。接種は大切だとの認識で議論はしており、今後も考えていく。

■ 議員 4年度から、小学校6年生から高校1年生までの女子への定期接種が再開されているが、この定期接種を逃した人への任意接種費用の

一部助成はできないか。

■ 町長 予定はないが、定期接種期間内に接種してもらえるように努めていく。

### 集団接種の実施を

■ 議員 本町の定期接種の接種率は比較的高いが、接種率はより上げるべきで、それには集団接種が有効だ。7年度からでも実施すべきではないか。

■ ことも政策課長 医師会などと協力・調整が必要であり実現できるか分からないが、考えていきたい。現状では、平日だけでなく日曜日も接種できる医療機関があることなどの周知を広げていく。

■ 議員 HPVは男子にとっても陰茎がんなどの原因であり、性交で女子へ感染させることから男子の任意接種を助成すべきと考えるが、どうか。

■ 町長 国の小委員会や、男子への接種は費用対効果に課題があるとする結果がある。費用助成は考えていない

が、国の動向を注視し対応する。

■ 議員 対象男子の2%の20人に97万円で接種できる。毎年度100万円ほど不用額となっている町長交際費の不用分の予算で実施できるが、そうしようと思わないか。

■ 町長 交際費は必要だから計上してあるのであり、この話とはまったく別の問題だ。交際費を甘く考えないほしい。

### 带状疱疹ワクチン

■ 議員 国による带状疱疹ワクチンの定期接種化がほぼ決定した。定期接種化されたら接種者の自己負担額をできるだけ少なくし、すぐに実施できるように、今から研究しておくべきと思うがどうか。

■ 町長 町民の負担をできるだけ軽くし、かつ財政的にも持続可能な自己負担額の設定が必要である。国の動向を注視し、近隣市町とも連携しながら、定期接種化に備える。



おかだ よしはる  
岡田 義晴 議員

# 健康づくり計画の進捗状況は

## 回答 特定健診受診率は増えている



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。



めざそう！長寿の町日本一！（おべんとうウォーキング）

■ 議員 健康づくり計画の数値目標・取り組み・進捗状況および成果はどうか。

■ 町長 具体的目標と取り組みとして、特定健診受診率の目標値を60%とし、休日の集団検診やがん検診との同時実施、AIを活用した個別勧奨通知などを行ってきた。平成25年と令和5年度を比較すると、目標値には達しなかったものの、特定健診受診率は13・9%増加し、49・7%で、増えている状況だ。引き続き受診率向上に努める。悪化した項目の一つにメタボリック

シンドローム予備軍および該当者の割合があり、目標値を23%としたが、平成25年度は29・1%、令和5年度は32%と、残念ながら該当者の割合が増えている。これまでも、特定保健指導や重症化予防、食生活の改善などに取り組んできたが、さらに強化改善に努め、町全体の健康に対する機運を高めていきたい。

■ 議員 本町の平均寿命と健康寿命は男女とも延伸しているか。

■ 町長 本町の平均寿命は、令和元年度は男性81・1歳、女性87・9歳、5年度が男性82歳、女性88・4歳。また、健康寿命の一つである本町の平均自立期間は、元年度が男性81・1歳、女性85・4歳、5年度が男性81・7歳、女性86・3歳。平均寿命、平均自立期間ともに延伸し、県内で最長だ。

問 耐用年数を過ぎた水道管の割合は

答 約27%で延長は67km

■ 議員 新浄水場共同整備事業の町負担額は現時点でも24・3億円のままか。

■ 町長 現在は、事業者選定に向けた発注行為の準備を進めており、建設資材や労務費の高騰などを概算工事費に反映するよう、基本設計業務を進めているところであり、本事業における町負担額は変動すると見込んでいます。

■ 議員 耐用年数を超過した水道管の割合はどれくらいか。

■ 町長 5年度末で約27%で延長にすると約67kmだ。

■ 議員 水道管の更新費用や工事工程はどれくらいか。

■ 町長 更新費用は、法定耐用年数で更新した場合は、令和46年度までの40年間で約250億円、年間に換算すると約6億円の更新費用と試算している。工事工程は、法定



新浄水場共同整備に向けて

耐用年数で更新を進めた場合は、財政面や人材面で事業継続が厳しくなることから、実使用年数を考慮した目標耐用年数を設定し、中長期のスケジュールにより更新費用の抑制を図り、老朽度および重要度を勘案した優先順位付けを行い、効果的かつ効率的な管更新となるよう進める。



あべ 安部 議員

# 認知症サポーターの今後の活動は

## 回答 安心して暮らせる町に取り組む



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。



認知症高齢者などに対する理解を

■ 議員 認知症高齢者数と、若年性認知症の現状と今後の見込み増加数はどうか。

■ 町長 本町の認知症の高齢者数は約930人、軽度認知症の人が約800人。若年性認知症の人は介護認定を受けている第2号被保険者の中にはいない。今後の見込み数は、2025年には5・4人に1人が認知症になると予測され、本町では、今後15年間、毎年500人を超える人が65歳以上になるので、それ

に伴い認知症の人も増加すると思われる。

■ 議員 認知症高齢者などの早期診断・早期対応や適切な医療と福祉、介護サービスの提供や課題はどうか。

■ 町長 地域包括支援センターの認知症初期集中支援チームが相談窓口となり、2つの医療法人に業務委託をして、訪問など支援体制を整備している。高齢者のみの世帯も増加しているため、早期での医療や支援サービスにつな

ぐことが困難であることが課題である。

■ 議員 独居高齢者の世帯数の現状と行方不明の恐れのある認知症高齢者などにおける見守り制度の充実と問題点についてはどうか。

■ 町長 認知症を含む独居高齢者の世帯数は、1444世帯だ。認知症高齢者については、町の事業として認知症高齢者おかえりサポート事業があるが、本制度の周知が課題である。また、地域のサポートによる協議体を立ち上げ取り組んでいる。

### 自主上映会を

■ 議員 最近、若年性認知症の実話を元にした映画を観た。若い方にも周知し理解を得る良い機会だが、本町で自主上映会をする予定はないか。

■ 介護保険課長 その予定は現在ない。

■ 議員 他の団体が上映会を開催する際、共催や後援などの協力はどうか。

■ 課長 上映会の話があったら前向きに検討したい。

■ 議員 認知症サポーターの意義と今後の活動についてはどうか。

■ 町長 認知症の人が安心して暮らせる町がつけられていくよう普及啓発活動を開始した。認知症サポーター養成講座を2009年から開催し、累計で3678人が受講している。認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者を増やしていく。

■ 議員 介護事業所と、介護人材不足の状況や介護従事者の育成などについてはどうか。

■ 町長 介護現場で働く人の処遇改善に向けた補助金の活用ができるよう事業所への情報提供などを継続していく。介護の人材確保については、情報提供や、職業プログラムなどを活用し、学生に介護を支えるさまざまな職業体験の機会を持ってもらうよう働きかけを行う。



にしおか かつゆき 西岡 克之 議員

# 自治会のデジタル化の取り組みは



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

## 回答 希望する自治会には伴走支援する

■議員 自治会などコミュニティの弱体化に対し、どのように認識しているか。また、維持支援に対してどのように考えているか。

■町長 少子高齢化、人口減少、定年延長などの影響による、役員のなり手不足や地域の人間関係の希薄化などで、加入率低下は本町を含め全国的な傾向である。自治会は地域にとつて最も身近な自治組織であり、住民間のつながりや支え合いの基盤となる



電子回覧は便利になるよ！

大切な団体であり役割は大きいと考える。本町は活動拠点整備・維持のため、補助金を交付し財政的支援を行っている。また、動画作成などの啓発活動や、他市町の取り組みの視察など幅広い支援を行っている。

■議員 今後の地域コミュニティ維持のために、回覧板の電子回覧板への移行や地域住民の情報交換など、柔軟で多様な連携を可能にする自治会のデジタル化を進めるべき

と考えるがどうか。

■町長 現在LINEを用いた自治会長会公式アカウン ト運用を行っている。52自治会のうち32人の会長が登録しており、多くの相談や報告を受けている。LINEを活用した自治会回覧板は、令和4年度に希望する自治会を対象に説明会を開催したが、「住民同士が直接触れ合い、支え合う自治会そのものの良さをなくす可能性もある」などの意見により導入には至らなかった。他自治体の事例を参考にし、今後も情報収集と検討を進め、希望する自治会には伴走支援を行っていく。

問 体育施設の早朝貸し出しはどうか

答 柔軟に対応する

■議員 本町で開催される体育施設を使ったスポーツ大会は、近年開催数が減少傾向にあると聞く。原因の一つが、施設の貸し出し時間に合わせた競技開始時間の遅さにある

よつた。早朝からの開催ができれば本町での大会開催数が増え、賑わいも創出できると考えるがどうか。

■教育長 質問を受け施設に確認したが、開場時間を早めてほしい旨の要望があることを確認できた。利用団体が責任を持って開場し管理できる場合は、一部早期の開場を可能とした運用を行っている。また、屋外施設については、貸し出し前でも入場可能とした運用を行っている。今後も各種大会や利用形態などを吟味し、利用者と協議の上、柔軟に対応していきたい。



なかむら みほ 中村 美穂 議員

# 文化部の休日部活動は

## 回答 平日の5日間で活動を確保



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

- 議員 休日部活動の地域移行への経緯を尋ねる。
- 教育長 国からの休日の部活動地域移行が示されたこと、少子化の進展で団体種目の運動部活動がチームとして成り立たないなどの現状を解決するためである。令和2年度に意思決定を行い、関係機関と協議を開始し、県教育委員会より部活動の地域移行に係る事業委託を受諾した。3年度に長与中卓球部での委託研究に始まり、それ以外の部活動も順次移行を行い、5年4月からは町内3中学校における全ての休日の運動部活動を地域スポーツ活動へ移行した。
- 議員 保護者の送迎の負担、兄弟姉妹が違つ部活動や、休日に仕事などで車が使えない場合などあるが、どのように考えているか。
- 生涯学習課長 練習会場を3中学校で偏りがないようにし、できる範囲で負担を少しでも軽減している。
- 議員 月会費3千円があることで、休日部活動に参加できない、または諦める生徒はいないのか。
- 課長 月会費が理由で参加をしないという情報はない。
- 議員 国や県の委託金は、期限があるのではないかと考えるが、それが無くなった時に、月会費などで運用しているのか。
- 課長 想定していないが、安定的な財源を今後も検討して探していく。
- 議員 8年度から有資格者のみと指導者契約をするとしているが、有資格者とは何を持つ資格なのか。
- 課長 日本スポーツ協会やさまざまなスポーツの競技団体の技術的な指導、コーチング技術やスポーツの価値や倫理観を学び得た資格である。
- 議員 文化部の休日部活動はどのようになっているのか。
- 教育長 地域に休日部活動の受け皿となる団体がないため、6年度4月から、



長与町の取り組みの動画が見られます



美術部は休日活動は行わず、吹奏楽部は1週間の間で平日5日間の活動を確保し、教育課程の一部見直しを行い、合奏練習を行うための時間を確保して活動している。

■ 議員 スポーツをする上で、試合に勝つこと、上位を目指して練習し努力をして勝った喜び、負けて悔しい思いは、大人になる成長過程で必要なことだと思うが、その点はどうか考えるか。

■ 教育長 スポーツには競技性もあり、力を競うものや、美を競うものもある。競技性以外にもスポーツは生涯にわたって楽しむこと、親しむこととの入り口として、できるだけ多くの子どもたちに身体を動かして表現することをやってほしい。



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

# クスノキ材活用提案はどうなった

## 回答 希望事業者が商品開発中である



つとみ さとし 議員

■議員 芳香、防虫効果が認められているクスノキの間伐材を用いて、町の特産品につなげてはどうかとの町民からの提案を受け、以前一般質問で提案をした。この提案の間で進捗はどうなっているか。

■町長 クスノキ材を活用したいという事業者から相談があり、伐採材の情報提供をし、商品開発をしていると聞いている。販路として、ふるさと納税の返礼品への登録をサポートし、10月から出品できるよう準備を進めている。

**問** 交通機関が減便しない対策を

**答** 今後も改善を求めていく

■議員 公共交通機関は減便傾向が続いている。本町で生活している人にとって減便は深刻な問題だ。国や県も含め広域的に協議を行い改善策を講じることが町民の願いであると思うがどうか。

■町長 バス事業者のロケーションシステムや、タク

シー事業者への配車アプリ導入を支援するなど、移動手段を維持する取り組みを実施してきた。今後も自治会や町の要望を伝え改善を求めていくほか、利用促進に取り組んでいく。

**運転サポートを**

■議員 先日、委員会の視察先で、高齢者におしなべて運転免許証の返納を促すのではなく、運転が可能な人へのサポートを行い、長期間運転を奨励する取り組みを行なっている自治体があった。住宅密集地以外に居住する人が少なくないため、このような取り組みは本町での生活を守るために極めて有効と感じた。可能なかぎり長く運転できるようにするための取り組みを検討すべきではないか。

■町長 高齢者の交通安全対策として、時津警察署、自動車学校の協力のもと、時津町と合同で高齢者の参加・体験型交通安全講習会を毎年開催している。高齢者の免許証

返納には、外出機会が少なくなり、心身にも影響が出ることを考えられる。家族ともよく相談のうえ判断をしてもらい、その判断の支援を行えるよう努めていきたい。

**問** 問題ないか 図書館以外の教育予算

**答** 図書館以外の事業も見据えている

■議員 教育委員会が所管する教育振興基金は10億円ほど積み増しができている。今後、図書館建設に一定額を充当すると、義務教育施設整備

や体育振興、文化振興などの予算、財源が懸念される。私は図書館建設は必要との立場だが、図書館以外の教育関係予算は問題ないのか。

■町長 当該基金は新図書館整備のために6年度から活用する予定であり、今後、ある一定の額は減少する見込みである。しかし、以前より基金積み立てを計画的に実施し、図書館整備以外の事業も見据えた上で活用しているの、一定備えはできていると考えている。



運転可能な高齢者をサポートし 生活守る取り組み



しもまち じゅんこ 下町 純子 議員

# 図書校務員の配置はどうなる



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

## 回答 2校兼務を進めていく

■議員 令和5年度まで町内の各学校に1人ずつ配置されていた学校図書校務員だが、6年度2校兼務になっていく学校がある。欠員が出たときに補充をしなかったのはなぜか。

■教育長 学校司書業務と給食関連業務を担う人材を図書校務員として管理公社が雇用し、各学校に配置してきた。5年度から学校給食の会計業務の必要がなくなり、図書校務員の業務が縮減することになった。そのため管理公社と協議し段階的に配置転換等を行い、8年度には4人の図書校務員で8校を兼務する体制をとることになる。

■議員 現在2校兼務になっている図書校務員の勤務状況はどうなっているのか。  
■教育長 6年度は2人の図書校務員が2校兼務となっており、月・水・金が小学校、火・木が中学校での終日勤務になっている。

### 教職員 の 負担 は

■議員 図書校務員が不在であることで現場の教職員の負担が増えるのではないか。

■教育長 図書校務員が兼務になったことで全教職員が何らかの形で学校図書館の運営に携わる必要がある。これまでは多くの業務を図書校務員に依存してきたことは否定できない。学校図書館の運営および活用の本来の目的について考え実践する良い契機になったが、少なからず負担を感じている職員はいると思われる。

■議員 図書委員会活動に支障はないのか。

■教育長 2校兼務の場合、図書校務員による毎日の助言や見守りはできないが、児童生徒の自主性や責任感が育まれる。ミスを通して成長もする。また、司書教諭などもある。現段階では、図書委員会活動への支障はない。

■議員 読書週間などのイベントに影響はないのか。

■教育長 開催に大きな支障はないと思う。

■議員 学校図書館のパソコンなどのトラブル時の対処はどうしているのか。

■教育長 トラブル時は速やかに図書委員会担当教諭に知らせるよう指導している。

### 今後の配置は

■議員 図書館を大事にしている町は、一概には言えないが児童生徒の学力も高いと言える。本に親しむことで成長もすると思う。文部科学省

が目標とする1校1名の図書校務員の配置が望ましいと考える。どうしてもそれが無理であれば、読書の入り口である小学校だけでも1校1名の配置にならないか。

■教育委員会理事 2校兼務については図書校務員の処遇を守るため、管理公社と協議して判断している。現段階では図書校務員を1校1名に戻す予定はない。2校兼務を粛々と進めていきたい。



学校図書館はどうなるの

## 未来を見据え認知症や地球温暖化対策を調査

委員長 金子 恵

### ○調査期日

令和6年7月17日～19日

### ○調査場所

愛知県岡崎市  
岐阜県恵那市  
愛知県知多市

### ○調査目的

ゼロカーボンシティについて

(岡崎市・知多市)

認知症対策について

(恵那市・知多市)

### ○概要

(ゼロカーボンシティ)

岡崎市では、再生可能エネルギーの利用促進、エネルギー効率化の向上に取り組んでいます。また、公用車のカーシェアリング導入により脱炭素化への取り組みの実施その他、企業との連携事例の説明を受けました。

知多市は、太陽光パネル設置の補助制度、省エネ(家電)設備の補助やEV車等の普及支援に力を入れていました。

(認知症対策)

恵那市では、地域住民と連携した活動、あんしん見守り事業を進めています。



岡崎市

### ○調査を終えて

知多市では、見守り支援システムを導入、また、認知症条例に目的、責務、役割を明文化しているとのことでした。

今回、調査した市は大都市の近郊であることから、企業との連携が図られていることが特徴的でした。本町において考えられることとしては、両調査内容に関し、住民参加などを視野に考えることができる内容もあり有意義な調査となりました。

## コミュニティスクールと義務教育学校制度について

委員長 中村 美穂

### ○調査期日

令和6年8月20日～22日

### ○調査場所

兵庫県尼崎市  
京都府京都市

大阪府池田市

### ○調査目的

コミュニティスクールについて

義務教育学校制度について

### ○調査を終えて

兵庫県尼崎市はコミュニティスクールの導入に先行して、地域学校協働活動の推進を積極的に行っています。地域のつながり、絆を強化し、「学校を核とした地域づくり」の実現を目的としています。

京都府京都市は歴史と伝統に地域の子どもは地域で育てるといふ竈金(かまどきん)の精神があり、平成16年に学校運営協議会や、小中一貫教育特区に認定され先進自治体であり取り組みが進んでいます。

大阪府池田市のほそごう学園は、



京都市

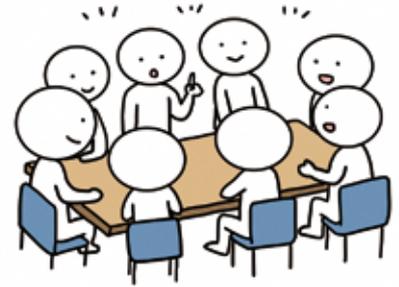
義務教育9年を4-3-2のステージに分けた、施設一体型の義務教育学校です。本町が参考にしている学校の1つですが、財政規模の違いが課題です。  
視察した各議員が報告書を作成し、町議会ホームページに掲載していますのでご一読ください。

次の定例会は **12月3日(火)** 開会の予定です。

# ワールドカフェ方式で議員と語ろう！

## ～令和6年度議会報告会のお知らせ～

今年度の議会報告会は、前半は令和5年度決算の主な内容のご報告、後半は町民の皆さまと議員がテーマ別に少人数のグループを作り、くつろいだ雰囲気で見聞やアイデアの交換を行う「ワールドカフェ方式」の意見交換会を実施します。議会としての結論をお答えするものではありませんが、皆さまのお声は各議員が今後の質疑や提案の参考にいたします。関心のあるテーマへ、ぜひお気軽にご参加ください。



**日時：令和6年11月8日(金) 19時～20時半(18時半開場) 場所：長与町水道局3階**

**テーマは 3つ**

- 新図書館の運営について
- 地球温暖化対策について
- 認知症対策について

※前半の5年度決算報告はZoomでもご参加できます。  
 ID：959 9809 6913 パス：194761  
 Zoomの様子はYouTubeで配信予定ですので、顔・名前を出したくない方はご自身で設定願います。  
 ※報告会は議会としての決定や活動を伝える場で、議員の私見はお答えできない場合があります。

お問い合わせ：長与町議会事務局(役場4階) 手話通訳が必要な方は10月30日(水)までに事務局までご相談ください  
 メール：gikai@nagayo.jp TEL：095-801-5700 FAX：095-887-2144

### 議長交際費

(令和6年7月1日～9月30日)

寸志・慶祝など	15,000円(2件)
香典・生花スタンドなど	36,850円(2件)
激励カンパ	5,000円(1件)
視察研修土産代など	26,105円(6件)
その他(見舞金・負担金など)	6,600円(1件)

支出合計 89,555円(12件)



撮影者：久保 桃香さん  
(長崎北陽台高等学校 写真部)

タイトル：残暑と夕焼け

撮影場所：まんてんの駐車場付近(岡郷)

撮影者コメント：海の向こうでオレンジ色に染まって沈む夕日が綺麗で、残暑の中の秋らしさを感じました。

表紙の写真

### 編集後記

石川県能登地方では地震の傷がまだ癒えない中で、豪雨災害が発生し、被災者の方々がどれほど心を痛められたか想像もつきません。1日も早い復興をお祈り申し上げます▼本年度は、県総合防災訓練の一部が行われ、県内初のチェンソー隊が本町消防団に結成され、本町で初めて防災士養成講座が開講され、ハザードマップの更新が予定されるなど、防災に関する事業が実施されています▼町民の皆様の防災意識を高め、災害に対して自分の身を守るための準備を整え備えることで、災害に強いまちづくりが実現することを願います。

(松林 敏)

### 議会広報広聴 常任委員会

委員長	八木 亮二
副委員長	堀 真
委員	下町 純子
委員	藤田 明美
委員	岡田 義晴
委員	松林 敏
委員	浦川 圭一
委員	安部 都



この「ながよ町議会だより」は、環境に配慮し揮発性有機化合物を一切含まないNON-VOCベジタブルインキで印刷されています。